平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 河合楽器製作所　　上場取引所　東
コード番号 7952　URL http://www.kawai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 河合 弘隆
問合せ先責任者　(役職名) 取締役総合企画部長兼経理財務部長　(氏名) 金子 和裕　TEL 053-457-1227

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	43,618	6.6	1,371	7.4	1,950	34.9	1,163	15.4
25年3月期第3四半期	40,910	△6.2	1,276	△37.5	1,445	△20.7	1,007	△21.1

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　2,045百万円　(105.2%)　25年3月期第3四半期　997百万円　(△5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	13.74	―
25年3月期第3四半期	11.79	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	39,902	17,739	44.4
25年3月期	36,882	16,032	43.3

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　17,697百万円　25年3月期　15,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	4.00	4.00
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	6.9	1,800	53.7	2,000	18.1	1,300	37.8	15.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	85,610,608 株	25年3月期	85,610,608 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	950,184 株	25年3月期	948,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	84,661,506 株	25年3月期3Q	85,520,798 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 2

（１）経営成績に関する説明 2
（２）財政状態に関する説明 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 3

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 3

３．四半期連結財務諸表 4

（１）四半期連結貸借対照表 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記) 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 8
(セグメント情報等) 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復基調にあるものの、欧州の景気は低迷が続き、中国をはじめとしたアジアでは停滞感のある状況で推移しました。

一方、わが国経済は、現政権の経済・金融政策への期待感から株価が上昇し、徐々に景気回復の兆しが見られました。

このような経営環境のもと、当社グループは「第４次中期経営計画」の初年度として、最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』を中心とした高付加価値ピアノの全世界に向けての販売拡大とブランド力向上に努めました。また、国内では新規顧客の開拓と地域密着型の音楽教室の展開を進め、海外ではインドネシアにおいて直営教室を開設するなど積極的な市場開拓・販売拡大に取り組みました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、国内外で楽器販売が堅調に推移したことに加え為替による押し上げがあり、また素材加工事業での売上高増加もあり、43,618 百万円（前年同期比 2,708 百万円増）となり、営業利益は 1,371 百万円（前年同期比 95 百万円増益）となりました。経常利益は為替差益の発生もあり 1,950 百万円（前年同期比 505 百万円増益）となり、四半期純利益は 1,163 百万円（前年同期比 156 百万円増益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器事業)

楽器事業は、国内においては『Shigeru Kawai』の販売が堅調に推移し、アップライトピアノは販売・音楽教室・調律の三位一体活動の効果もあり増加しました。電子ピアノについても前期発売の『CA シリーズ』が好調であり伸長しました。

海外においては、グランドピアノは北米、欧州市場などで販売が増加しましたが、アップライトピアノは主に中国市場で減少しました。電子ピアノについては、欧州及び東南アジア市場において伸長しました。

この結果、売上高は為替影響もあり 21,248 百万円（前年同期比 1,827 百万円増）となりました。営業利益は円安による原価高の影響もありましたが、高付加価値商品の販売増加により 67 百万円（前年同期比 8 百万円増益）となり、上半期までの営業損失を挽回し営業利益に転じました。

(教育関連事業)

教育関連事業は、人口増加エリアを中心に音楽教室を開設するなど新規生徒募集に積極的に取り組んだことにより新入生徒数は増加しましたが、既存教室の生徒数減少をカバーするには至らず、売上高は 12,721 百万円（前年同期比 304 百万円減）となりました。営業利益は、教室運営費用の削減など収益体質の強化を図りましたが 982 百万円（前年同期比 171 百万円減益）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、金属事業において前期に設立した子会社の銑鉄鋳物販売が加わり、また自動車関連部品の受注が増加しました。音響事業においても市場の活性化や楽器販売との相乗効果により防音室の販売が増加しました。この結果、売上高は 7,623 百万円（前年同期比 885 百万円増）となり、営業利益は 475 百万円（前年同期比 111 百万円増益）となりました。

(情報関連事業)

情報関連事業は、ＩＴ機器の販売増加により、売上高は 1,886 百万円（前年同期比 310 百万円増）となり、営業損失は 51 百万円（前年同期比 18 百万円改善）となりました。

(その他)

その他の事業については、売上高は 138 百万円（前年同期比 10 百万円減）となり、 営業損失は 14 百

万円（前年同期比８百万円改善）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債、純資産に関する分析）

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加などにより、39,902 百万円（前期末比 3,020 百万円の増加）となりました。

負債合計は、長期借入金の増加などにより、22,163 百万円（前期末比 1,314 百万円の増加）となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の増加などにより、17,739 百万円（前期末比 1,707 百万円の増加）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 26 年３月期の連結業績予想につきましては、平成 25 年 11 月７日に公表しました内容から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,128	8,236
受取手形及び売掛金	5,338	5,177
商品及び製品	3,684	4,071
仕掛品	1,397	1,478
原材料及び貯蔵品	1,596	1,670
その他	1,614	1,827
貸倒引当金	△247	△267
流動資産合計	19,511	22,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,981	5,049
機械装置及び運搬具（純額）	2,163	2,035
土地	6,094	6,145
その他（純額）	807	887
有形固定資産合計	14,047	14,118
無形固定資産	570	690
投資その他の資産		
繰延税金資産	214	235
その他	2,618	2,751
貸倒引当金	△79	△88
投資その他の資産合計	2,752	2,897
固定資産合計	17,370	17,706
資産合計	36,882	39,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,974	3,582
短期借入金	2,644	2,744
未払法人税等	288	444
賞与引当金	966	251
製品保証引当金	54	64
その他	3,656	3,453
流動負債合計	10,585	10,540
固定負債		
長期借入金	532	1,448
退職給付引当金	8,538	8,938
環境対策引当金	44	44
資産除去債務	652	652
その他	496	538
固定負債合計	10,264	11,622
負債合計	20,849	22,163

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,609	6,609
資本剰余金	744	744
利益剰余金	9,679	10,503
自己株式	△159	△159
株主資本合計	16,874	17,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244	301
為替換算調整勘定	△1,132	△302
その他の包括利益累計額合計	△888	△0
少数株主持分	46	41
純資産合計	16,032	17,739
負債純資産合計	36,882	39,902

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
売上高	40,910	43,618
売上原価	30,400	32,774
売上総利益	10,510	10,843
販売費及び一般管理費	9,233	9,472
営業利益	1,276	1,371
営業外収益		
為替差益	255	592
その他	151	173
営業外収益合計	407	765
営業外費用		
支払利息	64	43
売上割引	39	49
その他	134	91
営業外費用合計	237	185
経常利益	1,445	1,950
特別利益		
受取補償金	－	29
その他	2	4
特別利益合計	2	34
特別損失		
固定資産除却損	4	11
その他	0	－
特別損失合計	4	11
税金等調整前四半期純利益	1,443	1,973
法人税等	435	822
少数株主損益調整前四半期純利益	1,007	1,151
少数株主損失（△）	－	△11
四半期純利益	1,007	1,163

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,007	1,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	57
為替換算調整勘定	△20	807
持分法適用会社に対する持分相当額	9	28
その他の包括利益合計	△10	894
四半期包括利益	997	2,045
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	997	2,050
少数株主に係る四半期包括利益	－	△4

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成 24 年４月１日　至　平成 24 年 12 月 31 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
	楽器	教育関連	素材加工	情報関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,421	13,025	6,738	1,576	40,762	148	40,910	－	40,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	12	290	303	328	631	△631	－
計	19,421	13,025	6,751	1,867	41,065	476	41,541	△631	40,910
セグメント利益又は損失（△）	59	1,153	364	△69	1,508	△22	1,485	△209	1,276

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△209 百万円には、セグメント間取引消去 52 百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△261 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成 25 年４月１日　至　平成 25 年 12 月 31 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
	楽器	教育関連	素材加工	情報関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,248	12,721	7,623	1,886	43,480	138	43,618	－	43,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	168	270	439	201	641	△641	－
計	21,249	12,721	7,791	2,157	43,920	340	44,260	△641	43,618
セグメント利益又は損失（△）	67	982	475	△51	1,474	△14	1,460	△89	1,371

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△89 百万円には、セグメント間取引消去△2 百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△87 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。